

山菜採りによる遭難の防止

慣れた山にも 隠れた危険が！

例年、4月に入ると、行者ニンニク等の山菜を求めて入山し、山中で道に迷ったり、沢に転落する事故が発生しています。

慣れた山でも、油断による「危険な落とし穴」があることを忘れず、次の点に注意しましょう。

- ① 行き先を家族に伝えましょう。
 搜索開始時間を早める為、行き先や帰宅時間を家族に伝えましょう。
- ② 無理に山奥に入らないようにしましょう。
 慣れた山でも、油断は禁物です。
 自分の体力や体調、天候や時間に合わせた行動をしましょう。
- ③ 単独での入山は避けましょう。
 万が一、迷ったり、怪我をした場合、一人では救助要請ができません。
 なるべく、複数で出掛けましょう。
 また、山の中では、絶えず声を掛け合いながら、お互いの位置を確認しましょう。
- ④ 目立つ色の服装で入山しましょう。
 万が一遭難した場合、ヘリコプターが上空から救助に向かう場合もあるので、赤色や白色系の服装が目立ち、発見されやすくなります。
- ⑤ 携帯電話やホイッスルを持ちましょう。
 携帯電話は非常時の連絡手段として、助けを求めることができ、ホイッスルがあると、周囲に自分の存在を知らせることができます。



頼城駐在所
 多田 大将
 25-5042



春の全国交通安全運動の実施

～さあ青だ 踏み出す前に 再確認～

「春の全国交通安全運動」が4月6日（土）から4月15日（月）の10日間実施されます。

- 新入学の時期を迎え新たな春が始まり、新1年生の登下校が始まります。

小学生が歩行中に死傷した事故の特徴では

- ・ 低学年（1～3年生）が約7割で1年生が最も多い
- ・ 登下校中に多く、全体の約6割である
- ・ 事故の中には歩行者側に飛出しや横断違反、信号無視などの違反があることなどがあげられます。

歩行者であっても、交通ルールを遵守しなければならないことから、日常生活や教育現場において、保護者や教育関係者が継続した交通安全に関する教育を行いましょ。

- 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

- ・ 横断歩道は歩行者が優先となります。歩行者の横断を妨げないようにするとともに車両を運転する場合は「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持ちましょう。
- ・ 飲酒運転は悪質・危険な犯罪です。飲酒したら運転しない、飲酒運転車両に同乗しないなど当たり前のことはしっかり守りましょう。
- ・ 加齢とともに身体能力や運動能力は低下し運転操作ミスに繋がります。運転に不安を感じている高齢ドライバーやそのご家族の皆さん、安全運転相談ダイヤル「#8080」（シャープハレバレ）にお電話ください。



この4月で滝川警察署へ異動となりました。
 様々なご支援、ご協力を頂きありがとうございました。

芦別頼城・西芦別は自然が豊かで人の心が温かく、住みやすい素晴らしい土地でした。
 皆様のますますのご健勝を祈願申し上げます。

スマホを使い始めた皆さん！
 家庭のスマホルール作っていますか？

